

LIBRARY NEWS

CHIKUSHI JOGAKUEN UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE LIBRARY

「タブレット」

図書館長 大津 忠彦

近ごろ「タブレット」なる語をよく耳にする。人気急上昇中の「タブレット PC」、「メディアタブレット」のことらしいが、私の専門分野でタブレットといえば「粘土板文書（クレイ・タブレット）」の意。古代シュメール（メソポタミア最南域）の人々が、楔形文字やその祖型である「絵文字」を記した、あの粘土製書版（文字媒体）のこと。人々が都市生活を開始し、その中心的存在となった「神殿」を営む際、出納記録の必要から生み出されたとも言われている。形状は、葦のペンで文字を記す面は平らながら、反対側は緩やかな凸状を呈し、手でかるく握った時の手のひらの曲面にうまくフィットするようになっている。当時、文字を読み書きする専門家（書記）になるためには、とてもハードな学校教育を受けなければならなかったらしい。「先生からムチ打たれるのはイヤだ」と嘆く「粘土版文書」記録資料があるほどだ。

シュメールから5000年後のいま、媒体としての「タブレット」には必須要件として「モバイル（移動性・携帯性・機動性）」が加わり、トレンドは「手のひらに収まるモバイル」との由。

「手のひらに収まる」とは、A6（文庫本サイズ）あるいは B40（新書サイズ）の判型ではないか。文庫、新書はやはりその廉価性から人気は衰えず、それらの本来的目的以上に収録ジャンルは増え、いまやコミック、辞書、事典の類さえある。

毎日の行きかえりの電車のなか、「スマホ」、「ケータイ」、文庫、新書を手にとり、無心に文字を追う老若男女の光景を、もしもシュメール人たちが見たら、自分たちの生み出した「文字」そして「タブレット」利用の活況に、さぞやほくそえむことであろう、という思いで隣の若者があやつる手のひらにのった「スマホ」を私はみる。そしてまたお気に入りの文庫本の世界に浸る。



平成 24 年度
学生図書委員
へのアンケート
(2012.10)より

本を選んでいるあいだ、ずっと楽しかったです。POP はどんな書き方をしたら、みんなが読みたくなるかなと悩みながら、書きました。そして POP と本を設置していた場所から誰かが本を借りていき、それが自分の選んだ本であったとき、すごくうれしかったです。

選書については各委員よく活動していたと思う。POP については各委員 1 つは書くようにした方が良いのでは？ (あまりみんな書かないから)

他の人の POP は、カラフルで内容をわかりやすく説明していてとても良かったと思う。

POP 書き楽しかったです。自分の選んだ本が借りられているととても嬉しいです。

学生図書委員活動を振り返って

私は 4 年間、学生図書委員をさせていただきました。買いたい本のリストを作るために本屋に行き新作の本などを見に行きました。そこで、新たに好きな小説やアニメなどを現代の科学で再現しようとしている本など、今まで知らなかった本を見つけることができとても楽しい時間でした。このような時間を学生の皆さんに知ってもらいたくて、海外小説や新人の作家さんなどの本を買いました。また、自分が読んだ本の中でたくさんの人に読んでもらいたい本も買いました。それらの本が借りられていると、とてもうれしいです。私はたくさんの作家さんを知って、いろんなジャンルの本を読むようになり学生図書委員になってよかったなと思いました。

このままで良い。

楽しかったです。

ある程度気楽で、とても楽しい。

アジア文化学科 4 年
大津山 蓉子

集まる機会がもうすこしあればいいなと思いました。POP のように学生が気軽にコメントできるようにコルク板などに紙をはれたらいいかなと思いました。

もっと図書委員をアピールできる活動ができたらいいなと思いました。来年も参加させて頂きます。

選書ツアー、とっても楽しかったです。機会があればまた行きたいです。POP は目立つように書くのがなかなかうまくいきませんでした。少しでも本の魅力を多くの人に伝えられていれればと思います。

選書や POP はけっこう良い出来だったと思うが、友人に「ライトノベルばかりで自分の読みたい本ばかり集めてて面白くない」と言われたのは少しショックでした ...。来年はジャンル毎などに偏りがないようにして頂ければ、こういった声も聞こえなくなるのではないのでしょうか。

選書は 2 回行った方が良くと思います。後、選書前、後に必ず全員集まって本がかぶらないようにした方が良く考えた。また、POP 書きの際に自分の本が他の人に借りられており不便でした。

雑誌記事索引をくらべてみる。

— 図書館の契約データベース紹介 その8 —

1 雑誌記事索引とは

図書館の本を探すときは『蔵書検索』で書名や著者名をたよりに検索します。(これは基本ですよね。)本だけでなく、雑誌やDVDなども『蔵書検索』でタイトルから探すことができます。

ところが雑誌は通常複数の記事や論文で成り立っているもの。そしてそれぞれの記事や論文にタイトルや執筆者があります。あなたが探しているものが雑誌の論文であれば、まずそれが何という雑誌のどの号に掲載されているのかがわかっていなければ、そこへ辿り着くことができません。

こういう時の強い味方が「雑誌記事索引」です。

2 『国立国会図書館雑誌記事索引』

雑誌記事索引の中で最も基本的なものが国立国会図書館が作成している『雑誌記事索引』です。国立国会図書館では、納本された国内の定期刊行物の中から学術的な調査・研究に有用な記事・論文を選定し、論文タイトル・執筆者名・掲載雑誌タイトルと巻号・掲載ページなどの目次情報をデータベース化して一般に提供しています。

3 CiNii(サイニイ) 国立情報学研究所論文情報ナビゲータ

国立情報学研究所は国公立を問わず大学が共同で利用できる学術研究機関です。2011年11月に『CiNii』はリニューアルし、『CiNii Articles- 日本の論文をさがす -』と『CiNii Books- 大学図書館の本をさがす -』の二つのメニューが使えるようになりました。『CiNii Articles』は全国の大学や研究機関が発行する紀要や学術論文の情報を収録したものです。また、国立国会図書館の『雑誌記事索引』も含まれています。『CiNii Articles』の最も大きな特徴は、論文タイトルや執筆者から掲載されている雑誌の情報を知るだけでなく、一部は論文本文も収載されていることです。つまり、雑誌論文を検索した結果、本文が『CiNii』にあれば、その場で論文を読むことができます。本文が付いているものは『CiNii Articles』全体の約1/4ですが、そのほとんどは大学の研究紀要なので、探しているものが大学の先生が書かれた論文なら見つかる確率が高いといえるでしょう。『CiNii』に本文がなくても、本文が掲載されているサイトへのリンクがある場合もあります。なお、『CiNii Books』(旧『Webcat』)は全国の大学図書館が所蔵している図書や雑誌の目録です。『蔵書検索』と同じで、論文の検索はできません。

4 Magagineplus (マガジンプラス)

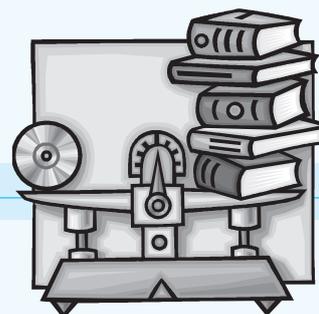
Magagineplusは国立国会図書館『雑誌記事索引』を中心に、『学会年報・研究報告論文総覧』、『論文集内容細目総覧』、『地方史文献年鑑』、その他『雑誌記事索引』にはない一般誌・総合誌・ビジネス誌などを統合して検索することができる、日本最大規模の雑誌記事索引データベースです。本文の収載はありませんが、あるテーマについての論文を網羅的に探したいときは、ヒット件数が最も多く効率的といえるでしょう。

5 Web OYA-bunko (財) 大宅壮一文庫雑誌記事索引

『Web OYA-bunko』はジャーナリストの故大宅壮一氏(1900-1970)が独自の観点から収集した大衆誌・娯楽誌のコレクションを基とし、現在も更新されている雑誌記事索引データベースです。これまでご紹介した雑誌記事索引はいずれも学術論文を探すことを主眼としているため、検索対象とする雑誌はある程度限定されます。これに対し『Web OYA-bunko』には図書館では購入しないか、購入しても短期間の利用で廃棄されるような雑誌が収録されているという大きな特色があります。このため、時代の流行や社会情勢・風俗などを研究するには他では得られない貴重な資料を見つけることができます。雑誌本体は大宅壮一文庫に所蔵があるので閲覧に行くか、有料で記事のコピーを取り寄せることもできます。

6 さいごに

一口に雑誌記事索引といってもそれぞれに特色があります。探しているものによって適切なデータベースを選ぶことは肝要ですが、最初からは無理なので、まず色々使って比べてみましょう。それが成功への近道です。



平成24年度（第8回） 読書感想文コンクール審査結果

学生の皆さんへの読書の奨励と図書館利用の推進を目的にコンクールへの応募を呼びかけましたところ、合計28編の提出がありました（7月2日～10月22日）。学内の教員で組織する図書委員会で審査しました結果、下記7名の方の入賞が決定いたしました。審査は公平を期するため氏名をふせて行っています。

 優秀賞 高野 美希 (現代教養学科1年) <作品> 夢をかなえるゾウ <所在> 4号館図書館 (913.6/Mi96)	 最優秀賞 福永 絵理 (日本語・日本文学科3年) <作品> 博士の愛した数式 (新潮文庫お-45-3) <所在> 4号館図書館 (913.6/O24)	 優秀賞 中尾 亜友美 (人間福祉学科3年) <作品> 阪急電車 <所在> 8・4号館図書館 (913.6/A71)
田河 ちなみ (日本語・日本文学科4年) <作品>夜市 (角川ホラー文庫:15155) <所在>8号館図書館 (913.6/Ts77)		藤木 可蓮 (アジア文化学科3年) <作品>凶南の翼/火車 (講談社文庫/新潮文庫) <所在>8号館図書館 (913.6/O677・913.6/Mi71)
山本 佑美 (日本語・日本文学科3年) <作品>阪急電車 (角川ホラー文庫:15155) <所在>8・4号館図書館 (913.6/A71)		中嶋 千晴 (現代教養学科1年) <作品>ミッキーマウスの憂鬱 (新潮文庫8516,ま-34-1) <所在>8号館図書館 (913.6/Ma86)

入賞の方々の作品は、図書館ホームページ上に掲載中です。自由にアクセスして読んでください。